

おわりに

◆西日本豪雨で、多くの方が被災されました。福井県では災害ボランティア活動基金を活用し、速やかにボランティアバスを出せる仕組みが構築されています。

今回も12日に、お隣の京都府舞鶴に向けボランティアバス第1便が出ました。私も参加し泥を土嚢袋に詰める作業をしました。水分を沢山含んだ泥に、四苦八苦しました。

今回の作業で私がこだわったのは、「土嚢袋の縛り方」です。先に日野川河川敷で行われた越前市水防訓練で、水防団の方々に教わった「縛り方」を思い出し、「いざ実践!」。

市民活動は全体的に「団塊の世代の後の世代が低調」という悩みがありますので、急なボランティアバスの応募に、どれだけの方が集まつてくださるのか、心配していました。

ところがなんと、その日のボランティアバスは定員満杯。参加者は、20代2名、30代5名、40代5名、50代7名、60代5名、70代4名でした。全体を通して、嬉しいことに、参加者の年代は様々。これはすごいことだと思います。福井県民にはボランティアマインドが脈々と根付いている!

女子高生も、親子連れも、20歳以下もおられます。女性の多いバスの便もあるそうです。私の心配は杞憂でした。

福井県民、凄い!



細川かおり県政報告

第
39
号

7月5日(木)夕方…
14年前の福井豪雨災害で、越水した所が気になって、見て回りました。

●平成30年7月豪雨で被害に遭われた方、怖い思いをされた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

水害対策：河川改修について

服部川(東庄境町) 17:00

天端まで約30cm。近くの方は、既に大事なものを安全な場所に移動させておられました。

服部川(藤木町) 17:15

服間小学校の東北側は、天端まで20cmほど。市に危険性を連絡しました。

※19:12 避難勧告発令



領家の信号
17:30

既に冠水。
排水対策が必要な交差点です。

※19:43 服部川流域
避難指示発令



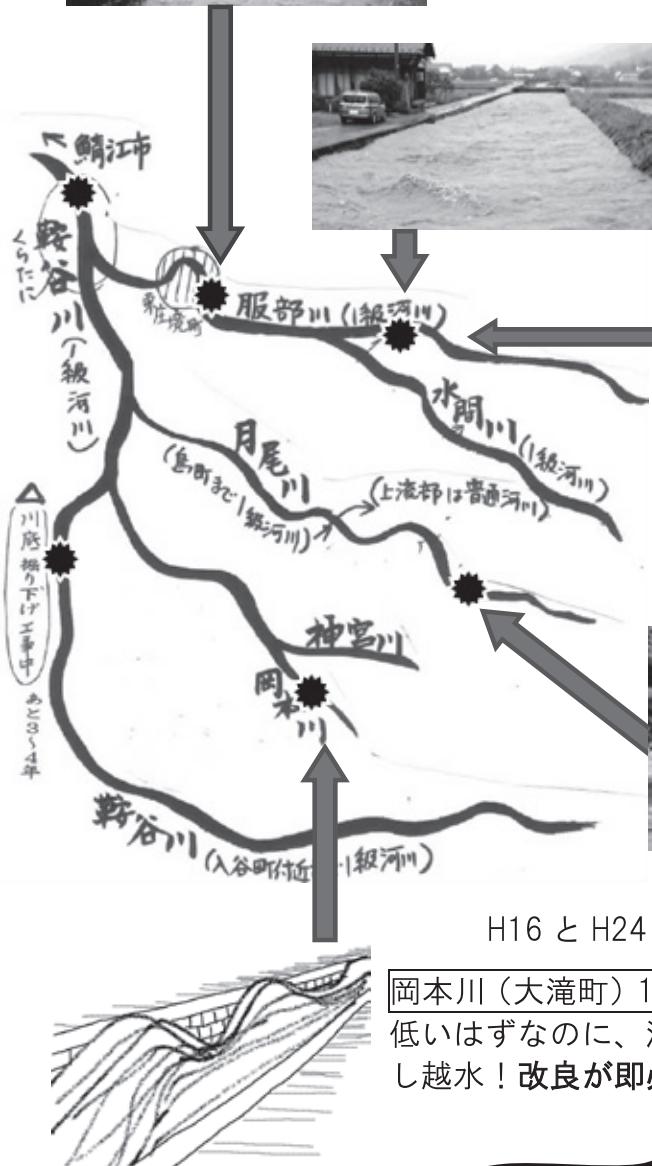
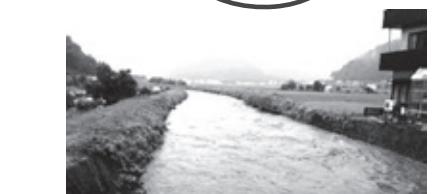
月尾川(八石町~大平町) 18:00
H16とH24に堤防決壊した所。天端あと10cm。

岡本川(大滝町) 19:30 改修が完了した所で水位は低いはずなのに、流れるスピードが速く、水が蛇行し越水！改良が即必要。

もし大雨が続いたら
と思うとぞっとします。

上流部まで、弱い部分の改修が急がれます。

ちなみに服部川は地権者の方のご理解ご了解を賜り、河川整備計画変更も完了しました。今後は事業費の確保に励みます。



県政報告会

※頂いたご意見は議会活動に役立たせていただいています。

m(_)m

7月26日(木)

時間 午後7時～
場所 村国コミュニティセンター

武生国高郵便局の角を村国山の方へ曲がり正面の建物

★ ラジオ「丹南FM79.1」

「県議会夢通信」

8月11日(土)午後4時～
(再)12日(日)午前10時～

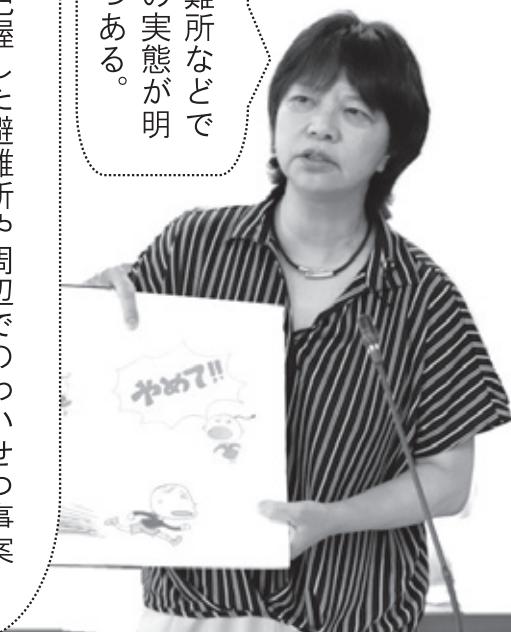
細川かおり県政報告 H30.7
発行：福井県議会議員 細川かおり
事務所：越前市村国1丁目2-11
TEL・FAX 42-5888

梅雨が明け、暑さが厳しくなりました。被災地での暑さが話題ですが、福井豪雨の復旧活動時も暑かったです。でも、熱中症になる人はとても少なかつたです。当時、猛烈な暑さの日に、ある集落で活動したボランティアだけ、熱中症患者が出ませんでした。何故だろうと調べたところ、集落の方がそのボランティアに梅干しを配っていました。「これぞ、梅干し効果だ！」というこの言葉が、その後、県内被災地のボランティアセンターに配りまくりました。とても効果的だったと実感しています。

暑さはまだまだ続きます。それに負けないよう、「福井の梅干し」をご活用していかがでしょうか。

性被害

熊本地震の避難所などで起きた性被害の実態が明らかになりつつある。



熊本県警が把握した避難所や周辺でのわいせつ事案は、強制的な性交や盗撮など約10件。「被災を前に夫のDVがひどくなつた」、「ボランティアからの性暴力」、「ボランティアへの性暴力」など、わかつただけでもひどい実態だ。

大きな災害の後は、女性に対する暴力が増加することを予測しておくべきであり、その防止活動が災害救援の中に組み込まれなくてはならない。

女性目線の避難所運営や、避難所における性暴力防止対策について、県がリーダーシップをとつて啓発すべきだ。

県 女性の二ーズに配慮した避難所の運営に努めることとしている。治安維持のための夜間巡回も行う。女性の消防団員や防災士を増やして、女性に配慮した避難所運営も進めている。

今後とも、市町に対し、避難所マニュアルのさらなる充実、警察と連携した災害時のパトロール強化などを要請するとともに、避難所運営に関わる女性を対象とした研修も実施してまいりたい。

性暴力救済センター・ふくい「ひなぎく」に相談のあつた一昨年度の被害者は、41名。なんと、そのうち9歳以下が5名です。
また、被害者の7割以上は、警察へ届け出をしない「泣き寝入り」だそうです。

性被害の特徴は、「被害の届け出がなされにくい」「面識があるものから被害を受ける場合が多い」「被害者の多くは未成年」ということだ。

警察へ届けのない性被害に対しても、向き合っていくべきで、セクハラやDVも含め、構えてなくて身近につと相談できる場がほしい。(カフェの2階にある事例紹介)

県 女性が相談できる場として、健康福祉センターや総合福祉相談所、警察、法務局など28か所に窓口がある。

生活学習館では、「女性総合相談窓口」として、性暴力やセクハラ、DVから、子育てや健康、人間関係などの悩み事まで、気軽に相談できる体制を整え、土日も開設し、電話相談や子どもの預りにも応じるなど、工夫を重ねている。

どこが相談窓口か広報を！
 そこは女性が行く気になる場か、
 女性の声を聴いて検証を！
 おおごとになるのを怖がる女性の
 気持ちを汲んだ対応を！

民間事業主に対し、企業の人事担当者が集まる会議やセミナー等の機会を捉えて、事業主の責務などの周知啓発に取り組んでまいりたい。

労 福井労働局と共に、企業の人事担当者が集まる会議やセミナー等の機会を捉えて、事業主の責務などの周知啓発に取り組んでまいりたい。

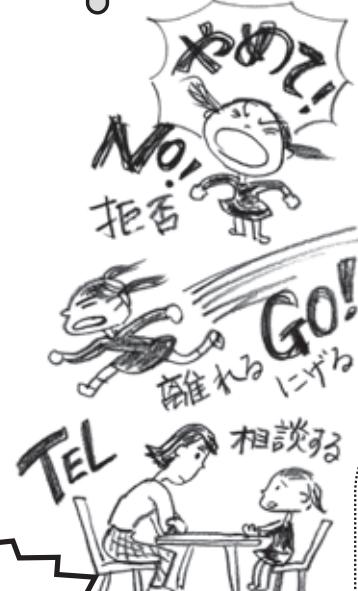
健 ハラスメント全て、人権問題ととらえており、アオツサの人権センターで、相談あるいは情報提供を行っている。センターだけで対応しきれない場合は、警察とか労働局の案内をしている。

子どもたちが性暴力防止プログラムを広め、「安心して生きる権利」やセクハラを「拒否」し、「離脱」し、「相談できる」ようにすべきではないか。

子ども



CAP プログラムの一端です。
 いじめや誘拐も NO! GO! TEL!



① 人には「安心して生きる権利」「自信を持って生きる権利」「自由に生きる権利」がある。

② でももし、おじさんが寄ってきて、べたべた触ってきて「ああ、気持ち悪い」って思つたら・・・

③ 自信・安心・自由な気持ちはどうなる?それを壊されたんだ!

④ 怖い・いやな気持ちは閉まつておかなければ、誰かに話すことが大事だよ。

学校では、24時間電話相談や関係機関の相談窓口を繰り返し周知し、信頼できる大人に相談するよう指導をしている。

また、性被害やセクハラ等を受けた場合には、養護教諭やスクールカウンセラーに相談するよう伝えている。

SOSの出し方については、今後研究してまいりたい。

子どもや女性の安全安心のために、やるべきことがたくさんあります。継続的に、追求したいと思います!